

# 令和7年度事業報告書

## 1. 法人の概要

名 称 学校法人新江学園 代表者 理事長 斎藤孝正

住 所 新発田市舟入町3-4-14

電 話 0254-23-5333 F A X 0254-22-6688

設置する学校

名 称 認定こども園東幼稚園

住 所 新発田市舟入町3-4-14

役 員

理事 6名 監事 2名

評議員 13名

理事会 2回開催 (07/05/26, 08/03/25)

評議員会 2回開催 (理事会同日)

職員体制 (3月31日時点) 49名 (うち育休中 0名)

1, 園長 1名

2, 副園長 1名

3, 主任保育教諭 2名

4, 副主任保育教諭 2名

5, 保育教諭 20名

6, 保育士 5名

7, 看護師 1名

8, 保育補助員 10名

9, 事務職員 2名

10, 管理栄養士 1名

11, 調理士 3名

12, 運転手 1名

## 2. 法人の沿革

設 立 昭和35年3月31日

住 所 新発田市寺町397番地乙ノ1

園 名 宗教法人立 東幼稚園として開園

4歳児1クラス 5歳児1クラス 計2クラス よりスタート

町名変更 昭和39年 新発田市中央町2丁目2番2号

園舎改築 昭和51年度 旧木造建築より鉄筋コンクリート造に改築

法人変更 昭和57年3月31日 宗教法人より学校法人に移行

内装改装 平成10年度～平成12年度 3年間かけて園舎内装の全面改装工事

全面移行 平成28年3月31日 幼保連携型認定こども園移行認可 現在に至る

### 3. 事業概要

#### 1. 保育・教育理念

子どもが子どもらしく成長できる環境を整え、のびのびと生活していく場とする。

#### 2. 保育・教育目標

- ◎明るくやる気のある子ども
- ◎みんなと仲良く遊べる子ども
- ◎思いやりのある子ども

#### 3. 年度の保育・教育方針

- 子どもの発達過程を踏まえて保育・教育を段階的に行う。
- 保護者との信頼関係を大切にして、健康で豊かな心を育む保育・教育を実践する。
- 保育教諭は専門知識、技術及び判断をもって保育・教育するとともに、指導を行う。
- 子どもらしく生活できる場の中で、子どもの様々な要求を満たし、心の安定を図る。

#### 4. 年度の保育・教育内容

乳児部（0、1、2才児）

保育者と豊かな関わりを持って、遊戯室・園庭・公園等でのびのびと遊ぶ楽しさを味わうことを通して伸びる力を育て、自立に向けた気力・体力の充実を促す。

幼児部（3、4、5才児）

のびのび遊ぶ楽しさを味わうなかで、友達や保育者と関わりながら工夫して活動に取り組む主体性を育てる。

#### 5. 年度人数(つくし=0、すみれ=1、さくら=2、はな=3、ほし=4、つき=5歳児)

組	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
つくし	3	4	8	9	10	13	15	15	15	15	15	15
すみれ	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
さくら	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
はな1	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
はな2	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
ほし1	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
ほし2	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
つき1	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
つき2	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
計	140	141	145	146	147	150	152	152	152	152	152	152

#### 6. 保育時間

1号認定 月～金 午前8：30～午後2：00

預かり保育 午前8：00～8：20 午後2：00～午後6：00

土曜保育なし

2号・3号 月～金 午前8：00～午後7：00

早朝保育 午前7：15～8：00 午後4：00～午後7：00

土曜保育あり

#### 7. 公定価格

利用者負担金 1号、2号、および3号1、2歳児子どもの保育料無償化実施  
3号0歳児は認定ごとに保護者居住地の市町村で定められた額

## 8、上乗せ徴収

施設拡充費（月額） 2,000 円

愛児会費（月額） 500 円

## 9、実費徴収

給食費（月額） 1号、2号および2歳児

子どもより給食費徴収（第三子以降および低所得家庭非徴収）

1号……主食費 500 円 副食費 6,600 円

2号……主食費 500 円 副食費 6,600 円 おやつ代 1,000 円

3号 1、2歳児……給食費として7,500 円徴収（保育料無償化）

通園バス費（月額） 往復 3,100 円 片道 2,100 円

## 10、行事実施状況

入園式 04/09 内科健診 06/03、11/07 歯科健診 04/25、11/28

親子遠足 05/22 秋の遠足 10/03 10/10 年長組親子わくわく体験 06/12

運動会 09/27 文化祭 11/01 発表会 ほし-02/06 つき-02/20 はな-03/06

ソリ遊び 02/25 豆まき 02/03 ひな祭り 03/03 卒園式 03/23

ほし組参観日 04/24、11/21 はな組参観日 05/16、11/14 つき組参観日 12/05

・避難訓練（毎月）、身体測定（毎月）

## 4. 施設の概要

広くゆったりとした園地、園児の安全を第一にした広い園舎の設計

1, 園地総面積 3,081.97 m<sup>2</sup> (内園庭面積) 795,17 m<sup>2</sup>

2, 園舎総面積 1,250.32 m<sup>2</sup> (内遊戯室面積) 192,05 m<sup>2</sup>

## 5. 事業報告

子どもの主体性を育てる保育を目指して0才児から5才児まで、一貫して「させる保育からする保育」に主眼を置いて保育を行ってきた。まだまだ職員一人ひとりの「主体性」の捉え方が統一できておらず、手探りが継続している。

年長児クラスの「夏のお楽しみ会」も夏の異常な暑さを避けるため今年度から廃止した。その代わりに6月に青少年施設「あかたにの家」で「親子ワクワク体験」を実施。親子で災害の被災体験を行い、災害時での防災や食事などを体験的な学ぶ機会を得た。運動会・文化祭や冬のお楽しみ会は、保護者に見せるための行事ではなく園児が主体的に「やりたい事・チャレンジしたいこと」を保護者に見てもらう形に変更した。行事ごとに保護者からアンケートを取り、概ね園の方針が保護者にも賛同してもらえた。

乳児部・幼児部の職員配置を可能な限り手厚くすることにより、職員の負担感を減らす事を心がけ、おおむね職員の納得を得ることができた。

職員の処遇については処遇改善が前年度とは若干考え方が変わったので、少々戸惑いながらだが人事院勧告による給与改定に沿うべく努力できたと思う。

物価高騰により光熱費・食材費等が急激な値上げとなり、若干ではあるが市より高騰費の補助を受けることができた。